

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	荒井裕清
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3338
<b>事務事業名</b>	4101 福祉医療費給付金事業											
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課											
<b>施 策</b>	01010200 医療体制の整備											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030107 民生費・社会福祉費・福祉医療費給付金対策費										
	<b>事業</b>	010000 福祉医療費給付金事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
早期に適切な受療と負担軽減を図り、市民福祉の向上に寄与する。						乳幼児・児童・生徒、障がい者、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子の医療費を助成する。						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
支給件数 52,177件 支給額 255,261,675円	支給件数 53,435件 支給額 264,864,689円
平成24年度 実績	平成25年度 実績
支給件数 62,435件 支給額 291,169,496円	支給件数 66,796件 支給額 295,928,970円
平成26年度 実績	平成27年度 予定
支給件数 66,463件 支給額 290,393,098円	支給件数 68,000件 支給額 298,000,000円

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		322,782	331,404
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	116,733	111,000
	地方債	0	0
	その他	0	300
一般財源		206,049	220,104
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,858.0	6,858.0
市民一人当たりの経費		6.3	6.5
総額		329,640.0	338,262.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	9	消耗品(コピー代等)
13節 委託費	31,052	福祉医療給付業務委託料 1,251千円 自動給付方式事務委託料 29,801千円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	88	システム改修に伴う費用負担金(県指示額)
その他	291,633	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	9	消耗品（コピー代等）
13節 委託費	32,151	福祉医療給付業務委託料 1,251千円 自動給付方式事務委託料30,000千円 システム改修費用 900千円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	299,244	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	医療費の負担を軽減することにより、受給者が適切な医療を受け、健康の増進と助やかな育成に寄与するため必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	医療費の負担を軽減することにより、受給者が安心して医療を受けることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受給者には、1レセプト（診療報酬明細書）ごとに500円（身障4級は高齢者医療確保法による一部負担金）を負担いただいている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

福祉医療給付金制度には、住民からの乳幼児等の対象年齢拡大や、窓口無料化の要望を受けているが、国や県、近隣市町村の動向や、給付額の推移を見ながら、持続可能な制度として取り組んでいく必要がある。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

現行制度を維持し、安心して医療にかかれる制度としていく。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

医療費の負担軽減と健康増進を図るために、持続可能な制度として継続する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--